評価のポイント

CL-新人. 看護実践能力：ニーズをとらえる力

［15-新人］こどもとアレルギー1 基礎知識：気管支喘息とアトピー性皮膚炎を中心に

①　こどもの成長とともに変化するアレルギー疾患の特徴について、説明してください

アレルギー疾患には、年齢によって発症しやすいアレルギーが異なるという特徴があります。
多くの場合、乳児期にアトピー性皮膚炎が最初に発症して、その後、食物アレルギー、ぜん息、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎というふうに発症していく傾向があります。必ずしもすべての人がこのような病気の経過を辿るわけではないが、さまざまなアレルギー疾患が年齢とともに次々と発症していく様子を、音楽隊の行進(マーチ)に例えて「アレルギーマーチ」と呼んでいます。（スライド）
このような特徴から、乳児期のアトピー性皮膚炎の予防や早期介入の必要性を認識できれば良いでしょう。

②　なぜ、長期的な視点をもってケアする必要があるのか、説明してください

2.アレルギー疾患は、アレルギー素因がベースにある慢性疾患であるため、長期的な管理が必要となります。
アトピー性皮膚炎は、皮膚のバリア機能低下により、アレルゲン等の刺激で慢性的な炎症が引き起こされる疾患です。外見上の症状が改善しても、炎症を適切に抑制しないと再燃を繰り返すことになります。
気管支ぜん息は気道の慢性的な炎症を特徴とする疾患です。したがって、発作時の対症療法だけでなく、症状がない時期からの予防的な管理が非常に重要になります。
このような特徴から、長期にわたるセルフケアの重要性を認識して、看護する必要性を認識できれば良いでしょう。

③　所属施設の食物アレルギー対応マニュアルを確認し、看護師はどのような役割を担っているか、説明してください

実際に施設のマニュアルを確認し、その内容を理解することが重要です。
①症状出現時の対応、②給食での誤食予防について、マニュアルに沿った行動とその根拠を説明できる必要があります。特に、食事の配膳業務は新人看護師にも早期から任されることが多いため、マニュアルに沿った確実な実施と、その重要性を行動レベルで認識することが求められます。